

独立行政法人国立文化財機構研究職員採用選考案内

独立行政法人国立文化財機構
令和7年4月15日

このたび当機構では、下記のとおり研究職員を募集いたします。

1. 職種・勤務場所・採用予定人員・職務内容

(1) 職 種 独立行政法人国立文化財機構研究職員

(2) 採用分野・採用予定人員 全 2名

分野A 文化財防災・記念物 研究員 1名

分野B 文化財防災・工芸 研究員 1名

(3) 就業場所

採用直後	本部文化財防災センター配属、当初の勤務地は以下のとおりです。 分野A 本部文化財防災センター (奈良県奈良市二条町2-9-1) 分野B 奈良国立博物館 (奈良県奈良市登大路町50)
変更の範囲	独立行政法人国立文化財機構内他施設(本部、東京・京都・九州国立博物館、皇居三の丸尚蔵館、東京・奈良文化財研究所、IRCI)及び関係機関に異動または出向する可能性があります。

(4) 職務内容

採用直後	下記の各専門分野の業務を中心に、文化財防災体制の構築、文化財の減災、救援および応急処置等に関する調査研究及び実践等に取り組みます。なお、必要に応じて他の業務に携わることもあります。 分野A 史跡・名勝等記念物に関する防災等にかかる調査研究及び実践等 分野B 仏教美術や工芸に関する防災等にかかる調査研究及び実践並びに博物館における文化財の収集・保管・展示・修理・教育普及及び特別展に関連する業務等
変更の範囲	独立行政法人国立文化財機構各組織規程等に定める所掌業務の範囲となります。

2. 採用予定日 令和7年9月1日(または令和7年10月1日) ※採用日については要相談

3. 勤務条件及び給与

(1) 勤務条件

①雇用期間 期間の定めなし。定年は満65歳。

②試用期間 採用日から6か月間(ただし、機構が特に認めたときは、試用期間の延長又は短縮する場合もあります。)

③勤務時間 分野A 始業 8:30～終業 17:15(1日7時間45分)

分野B 始業 9:00～終業 17:45(1日7時間45分)

④休憩時間 60分(12:00～13:00)

⑤休日 土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

⑥休暇等 年次有給休暇有、その他休暇(夏季休暇・忌引等)

* 超過勤務、休日勤務等の可能性もあります。

(2) 給 与

①基本給 研究職基本給表により決定します。(※②を含まない額です。)

* 参考 大学院修了者初任給月額 260,500円(研究職2級13号)

②諸手当 扶養手当、管理職手当、地域手当、住居手当、通勤手当等

③保険等 国家公務員共済組合に加入

(3) 受動喫煙防止措置の状況 敷地内原則禁煙(喫煙専用室あり)

* 上記の規則等については独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトの法人情報を参照願います。

(独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト: <https://www.nich.go.jp/>)

4. 応募資格

応募資格
① 大学院の修士の学位を有する者。又はこれと同等以上の研究業績を有する者。博士を取得しているとさらに望ましい。
② 文化財防災に関する研究、実践に関心を持っていること。実務経験を有するとなお望ましい。
③ 分野Aについては、史跡・名勝等記念物に関する専門的知識を持ち、学術論文等の研究業績を有すること。分野Bについては、仏教美術や工芸に関する専門的知識を持ち、学術論文等の研究業績を有すること。
④ 英語について諸外国の研究者との交流に支障がない程度の能力を有する者。
⑤ 他の職員や関係者など、他者と円滑なコミュニケーションをはかれる者。
⑥ 多方面にわたる機構の業務に対して積極的に取り組む意欲を有する者。

5. 選考方法

- (1) 第1次選考 研究業績、事業実績(参加事業等)、論文、著書等により書類選考を行います。
(2) 第2次選考 第1次選考合格者に対して、以下の試験を実施します。

- ①筆記試験 ・小論文(専門分野に関するもの)
・語学(英文和訳)

②面接試験

*第2次選考の日時及び場所については令和7年7月10日(木)、東京国立博物館を予定しています。詳細については、第1次選考合格通知時に別途連絡します。

6. 提出書類

以下の書類を御提出下さい。なお、書類(③, ④, ⑤を除く。)は A4 片面印刷, クリップ止めにて提出して下さい。(冊子, ホチキス止め不可。)

	書類	提出時の注意事項
①	履歴書	様式1 パソコン入力可。氏名欄は自筆押印。写真貼付。 ※応募分野を右上の欄において必ずチェックすること。
②	研究業績・事業実績調書	様式2 パソコン入力可。
③	卒業証明書又は卒業証書の写し 修了証明書又は修了証書の写し	大学学部以上の全てを提出。 在学中の場合は、卒業(修了)見込証明書を提出すること。 退学予定者は、在学証明書と退学予定証明書を提出すること。 外国語で記載されている場合は日本語訳を添付すること。
④	成績証明書	大学学部以上の全てを提出すること。 外国語で記載されている場合は日本語訳を添付すること。
⑤	学位証明書	博士の学位を取得している場合は提出すること。
⑥	研究業績の別刷	主な研究業績(論文等)の別刷を提出(3点以内)。ただし冊子のものは不可。冊子の場合は必ず A4 片面コピーをとる。 修士・博士論文等提出時は、日本語で 4,000 字以内のレジюмеを添付すること。
⑦	抱負についての作文	「採用された場合の今後の研究及び業務の抱負」について、1,000 字以内で記述したものを提出すること。(A4片面印刷であれば様式は任意。)
⑧	推薦書 (提出任意)	様式3 推薦書がある場合には、提出すること。

*御提出いただきました書類は返却しません。個人情報、当公募の管理・審査以外の目的に使用しません。当法人の保有個人情報等管理規程に基づき厳正に管理します。

7. 採用予定者の決定及び発表

第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。

選考結果は、第1次選考については令和7年6月末までに、合格者にのみ本人宛に通知します。

第2次選考については令和7年7月末までに、第2次選考受験者全員に通知します。

8. 応募手続き等

(1) 選考案内は独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトからダウンロードできます。

(独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト: <https://www.nich.go.jp/>)

(2) 応募締切

令和7年6月20日(金)午後5時必着

* 応募書類は、封筒に「研究職員応募書類在中(文化財防災 分野AまたはB)」と朱書きし、配達確認のできる方法で郵送により提出してください(持参不可)。※応募分野を必ず記載のこと。

(3) 提出先・問合せ先

独立行政法人国立文化財機構本部事務局総務企画課人事担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

TEL 03(3822)2438

9. 募集者名称

独立行政法人国立文化財機構

(様式1)

履 歴 書

令和 年 月 日 作成

写真貼付欄
(3×4cm)
最近3月以内に撮影のもの
上半身、正面向きの写真
写真裏面に氏名を記入すること

ふりがな		性 別 ※
氏 名 印		
生年月日 昭和・平成 年 月 日生(歳)		
ふりがな		電 話 番 号
現住所 (〒 —)		自宅
		方 携帯
ふりがな		電 話 番 号
その他連絡先(海外在住の方は日本における連絡先を記載のこと。) (〒 —)		
		方
メールアドレス(添付ファイルを受信できるアドレスを記載のこと。)		

※「性別」欄:記載は任意です。未記載とすることも可能です。

区分	年	月	学 歴 ・ 職 歴 等
学 歴	年	月	高 等 学 校 卒 業
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
職 歴	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	
	年	月から	週 時間勤務
	年	月まで	

区分	年	月	資 格 等
資 格 学 位 を 含 む	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

現在の勤務先

ふりがな	
名 称	
所在地 (〒 -)	
TEL() -	
職種及び職務内容(具体的に)	

自己紹介欄

志望動機 	
専攻(専門分野)及び所属学会等	
主要論文等テーマ(応募時添付のもの)	
語学 英語(1 2 3 4 5)	他の外国語
健康状態	趣味・スポーツ
どちらで,この度の公募をお知りになりましたか? 該当の□にレを記入してください。 ☐ 博物館のウェブサイト ☐ JREC-IN(研究者人材データベース) ☐ 大学及び職場等において案内 ☐ その他()	
その他 ※採用希望日について明記のこと。	

履 歴 書 記 入 要 項

- (1)万年筆又はボールペン(黒色又は青色)で記入すること。
- (2)年は元号で、数字はアラビア数字を用い、文字は楷書により正確に書くこと。
- (3)写真の裏面には氏名を記入して、履歴書に貼付すること。
- (4)職歴欄にはすべての職歴を記入し、非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。
- (5)語学欄は下表を参考にして、本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
- (6)他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。
2	身近な言葉をゆっくり話してもらおうと最低限理解できる。 外国へ出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。(入門・初級) (英語の場合、目安として、TOEIC370点程度若しくは英検3級程度)
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。(中級) (英語の場合、目安として、TOEIC520点以上若しくは英検2級程度)
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。(中上級) (英語の場合、目安として、TOEIC730点以上若しくは英検準1級程度)
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。(上級) (英語の場合、目安として、TOEIC820点以上若しくは英検1級程度)

例 英語(123④5) 他の外国語 (独語 4)

- (7)英語検定、中国語検定、TOEFL、TOEIC 等の語学検定を受験している場合には、資格取得の年月、試験の点数等を語学欄、他の外国語欄に記入すること。

例 英検準1級(H26) TOEFL450点(H28)

- (8)ボランティア経験等はその他欄に記入すること。
- (9)メールにより連絡・通知等をする場合も考えられるため、メールアドレスを持っている場合は、記入願います。

(様式2)

研究業績・事業実績調書

氏名				
○印	テーマ	内 容	発表等の時期及び方法	共同研究者

記入要領

- 研究業績及び教育事業実績の記入は次の順序とし、かつ、同一項目のものについては年代順に記入する。
 イ 学会誌 ロ 公刊図書 ハ 機関紙・内部報告 ニ 口頭発表 ホ 展覧等
 ヘ 研究調査 ト 教育事業実績 チ その他
- 研究テーマ等で代表的なものに○印をつける。
- 共同研究者の欄は主たる研究者に○印をつける。

(様 式 3)

推 薦 書

令和 年 月 日

独立行政法人国立文化財機構理事長 様

機関名等
職・氏名 印

下記のとおり候補者を推薦します。

候補者	ふりがな 氏 名	(年 月 日生)
	現 職	
推薦理由		
備 考		